

福岡よか未来プロジェクト
令和6年度採択



福岡未来創造
プラットフォーム

福岡サロン～科学と芸術が出会う場～
プロジェクト活動報告

プロジェクト名：福岡サロン～科学と芸術が出会う場～



福岡未来創造
プラットフォーム

9月29日 第一回イベント

ゲスト：

- ・ 副島雄児
- ・ 神保慶政
- ・ 高柳実彩



科学と芸術が出会う場所

映画上映 × トーク × 交流

釜山の町の人々に最初の記憶をインタビューしてまわる妊婦の「一日の旅」。
自分のOrigin(原点)とOriginality(独自性)を巡る保育士の「対話の旅」。
2本の旅情あふれるショートフィルムを題材に、未来と一緒に考える場をつくりました。

9.29 {sun} 入場無料
14:00 - 15:30

Artist Cafe Fukuoka (福岡県福岡市中央区城内2-5-3の丸スクエア内)

映画：
『憧れ』(20分) / 『Originality』(12分)

事前お申込は
こちらから→



トーク：
副島雄児 (福岡女学院大学・短期大学部学長)
神保慶政 (映画監督)
高柳実彩 (保育士/福岡女学院大学
子ども発達学科卒業生『Originality』出演)

お問い合わせ
kyushukurt@gmail.com
(九州大学システム生命科学府工藤職員)



福岡よか未来プロジェクト
令和6年度採択企画



発表者たちは創造性の本質、世界を理解する上での科学の役割、分野を超えたコラボレーションの重要性について対話を行いました。芸術と科学はどちらも、人間の存在と宇宙に関するより深い真実を明らかにしようと努めていることを振り返り、両分野がお互いに啓発し、豊かにし合うことができると強調しました。

プロジェクト名：福岡サロン～科学と芸術が会う場～

11月23日 第二回イベント
ゲスト：

- ・ 出水薫
- ・ 山内照枝

Fukuoka Salon
科学と芸術が
出会う場所
映画上映×トーク×交流
11.23 {sat}
14:00 - 16:00 入場無料
@Artist Cafe Fukuoka
福岡県福岡市中央区城内2-5三の丸スクエア内

映画：信号波（2023） / カブグラス（2016）
流動する宇宙、内なる海の存在を喚起させる詩的な短編「カブグラス」（2016年17分）。
日本統治下の釜山に移住した自身の家族史に向き合うセルドキュメンタリー「信号波」
（2023年131分）。海を起点にした2本の作品の波間から見えてくる、闇に透けるアジアに
ついて一緒に考えてみませんか。

トーク：
出水 薫（九州大学 法学研究院 教授）
山内 光枝（美術家・映像作家）

お問い合わせ：九州大学システム生命科学部 工藤徹也 kyushukurt@gmail.com

令和6年採択企画 福岡よか未来プロジェクト



イベント全体を通して、個人の物語がどのように相互に響き合い、コミュニケーションの壁を越えて新たな芸術的努力が生まれるかが探求されました。映像や言語分析といった多様な手段、そして海女の視点、家族史の視点、科学の視点から、言葉では伝えきれない感情を表現する試みを発見することができました。

プロジェクト名：福岡サロン～科学と芸術が会う場～

2月2日 第三回イベント

ゲスト：

- ・井上智史
- ・イギル・ボラ



映画: Our Bodies (製作中) / きらめく拍手の音 (2014)

中絶というタブーに直面する清純で9世代の女性が陥字、人種、移民、女性の身体に関する問いを追求する制作中の短編映画「Our Bodies」(来週)の未来映像と、
其の最果てな「父母の心で比較と命の間を行き交した自身の経験を描いた過去作品
『きらめく拍手の音』(2014年)の一部を合わせて上映。

トーク:

井上智史 (九州大学 人間環境学研究院 講師)

イギル・ボラ (映画監督・作家)



お申込はこちらから



令和6年採択企画 福岡よか未来プロジェクト

お問い合わせ: 九州大学システム生命科学部 三浦雅典 kyushukurt@gmail.com



このイベントでは、双方の議論と事例の提示から、芸術の感性と科学の分析が実際に連携し、社会革新を促す具体的な融合のポイントが示され、参加者は実践的な知見を得ることができました。

より詳しい内容を知りたい方はこちらのウェブサイトよりご覧になれます。

<https://fukuokasalon.studio.site>

Fukuoka
Salon

About us Work Contact Access

